

## 幼児の遊戯に就いて

本郷第一幼稚園 小向喜美子(談)

(近頃新聞で拜見した子供ダンスの事に就いて、小向先生にお尋ねしましたところ、先生は些細な事を新聞で大きめに廣げられたのには、自分ながら臆を潰した次第で、今更どうとも致し方なく恐縮致して居る始末ですから、之に關する事は、今暫く發表を御免蒙りたいと存じます。何れ充分な研究が出来たら、お尋ねなくとも、此方から御誌を拜借して、先聲諸先生の御高教にあづかりたいと思ひます。——とおつしやつて、再三お話しする事を拒絶され

ましたが、強いて私が問ひ詰めますと、次のやうな意を述べられました。それ故、次の文章は文責は私自身にあるのでございませうから、皆様そのお積りでお讀下さい。一會員)

遊戯も種々の理屈のあるものと云ふ事は、倉橋先生のグロースの遊戯論の御講演を伺つた時に知りました。私共が毎日幼児を取扱つて居ります時に、最も必要で而も興味を以て研究して見たいと思ひますものは、幼児の遊戯でございませう。

そして幼児の遊戯は如何なるものが適當(幼児の氣分に合致するもの)であるかと云ふ事を考へる時、何時も心に浮ぶことは、此の遊戯論の時に承つた、

「遊戯は活力の餘りに溢れ出たものである」、と云ふこと、今一つは、「模倣に起因するものである」、と云ふこと、の二つでございませう。

飯事とか電車ごっこか云ふものは、無論模倣から來たもので、幼児の精神状態の極く平らかな時には、此の種の遊戯を致しますが、非常に喜ばしいとか楽しいとか云ふ様な神經の興奮した時には、決して之だけでは満足が出来ないで、如何にも内部の活力が迸り出たと云ふ有様に(包み切れないで)、無意味な手足の運動、即ち手拍子、跳躍、足拍子と云ふ様なことをして、尙ほ足りなければ、聲を出して、以て内部の活動を發表致します。大人が手の舞ひ足の踏む所を知らずと云ふ形容詞を使ひますが、非常な場合には大人でも之でございませう。況んや、子供ならば無理もない事で、嬉しくてもじつと我慢して居る様な様な子供は、先づ不自然な教育を受けた子供が病的の子供と云つて差支ないと思ひます。

而して、此の模倣と活力の溢れ出た運動と、何れが先に發見さるゝかと考へますと、後の方が最初に表れるかと思ひます。彼の口もよく動かない赤子が、喜ぶ時には、足をどたばたやるのは、之ではありま  
すまいか。

今日幼稚園で幼兒に致させる遊戯の方法が、果して此の自然を利用して居りませうか。私の幼稚園では、保母が何々を致しませうと題を出し、幼兒は之を受諾し保母が樂器を奏し、幼兒が之に和して動き出すと云ふ順序で、時に幼兒の好むものを申出さしめ、之を一同で致すこともありますが、高々此の邊が止りでございます。

氣分のよい生々した幼兒ばかり集つて居る幼稚園の故、今少し何とか工夫して子供自身から働きの出さ様な遊戯の種類、或は指導の方法はあるまいか、と云ふ事を考へ出しましたが、まるで雲を掴む様な次第で何か何かと云ふだけで、日を過して居りました所が、丁度文部省で二階堂先生の「幼兒の遊戯」を云ふ題目の講習が開かれました。それはダンスの基本練習で其の中には、非常に氣分のよい運動がたくさんございまして。

そこで自分が考へたのは、どうかこのダンスを充分練習して自分のものに消化して後、之を幼兒の消化し得る様なものに調理して見たい、と云ふことと  
ございまして。

第二に考へたことは、變人とか陰鬱とか云ふ氣分の子供でも、どうかこの面白いダンスを利用して、多數の子供の中に釣込んで躍らせたならば、所謂輪廓から先づ快瀾に作つて行つたならば或は永い間には知らず識らず內的方面迄之に化せられて、終に浮々してさばけた子供になりはすまいか。

第三には、人の食物にも軟かいものも必要なれば、時には固いものも必要、甘いものもよければ、鹽辛いものも入用と云ふ様に、運動も表情遊戯の如き緩やかな運動の必要であると同時に、又舶來式のダンスの如ききばきした運動も亦必要でありませう左の條件のものに、

- 1、方法の複雑ならざるもの、
- 2、子供の好みに適するもの、
- 3、之に要する曲は何々ならざるべからずと云ふ様な窮屈なものでなく、舞蹈の曲ならば何でもよいもの、

こんな事を考へながら、講習を受け終りました。

さて、幼稚園に出て幼児の顔を見ると、早く此の空想を實現して見たいと思ひました。然し、如何に簡單なダンスでも多少の順序方法もある事故、之を子供に苦しみなしに渡すには、先づ保姆が教ふる方法の工夫に大に苦心を要することゝ、今一つは保姆が充分其技に熟達して出來得る限り、完全な手本を見せる事と云ふ事を考へました。

此の二つの條件を準備する爲に、多少の日子を費しました。そして、愈々取りかゝる決心を致しました。取り掛つて見ると意外な事ばかりで、尤もダンス其物の選擇が的中つたのかも知れませんが、案じるよりは産むが易いと申しませうか、樂々と受け取つて、而も日に巧者に踊る様になりました。そして、定められた時間外室内でも通行中でも、樂器の音さへ聞けば此ダンスのスタイルを取て居りますのは、餘程好みに適したのであると云ふ事が分りました。それから、私の嬉しく感じた事は、入園以來滿一年になつても、未だ曾て笑つた事のない或る變人の子供が、何時かこの中に釣込まれて、趣味を感じたものと見え、自宅に於て盛んに踊り、母と買物に行けば、往來を此のスタイルをして、後からついて行くので、母親がさまりが悪くて困ると申されました。

此の話を聞いてから、試みに、「○子さん踊りませうか」と手を出すと、横を向くべき筈の變人が手を出して、顔の筋肉が餘程弛みを表しまして、さまり悪さうに動きます。然し、満足する丈の結果は未だ得られません。何とか此の呼吸で成功して見たいと思ひます。以上は半年足らずの私の經驗でございますが、是より猶ほ研究を續けたいと思つて居ります。其の間には種々の問題にぶつかりまして、失望することも多く出ることゝ思ひます。

私は此の子供ダンスを利用して、幼児の體育上或る理想の港に著いて見たいと思ひますと同時に、一方精神上にも何等かの効果あらしめたい、と思つて居ります。

ダンスの方法は、二階堂先生の直傳の「お招き」と云ふのが、一番喜ばれて居ります。之は決して私の新案ではございませんから、御披露致す事は差控えます。一言序にお断りして置きたい事は、或は雑誌に「新案子供ダンス踊方小向喜美」と書出してあるのを見て、驚きました。私は決して左様な事を出した覚えはありません。唯寄せ來る記者に止むを得ず質問されるに、答へた迄の事でございます。前述の次第故、私は方法を申上ることは、御遠慮致したうでございます。